

(決算期の変更に関するお知らせ)

平成18年6月28日開催の第24回定時株主総会において、決算期の変更にかかる定款変更が承認可決され、従来の3月31日から9月30日に変更されました。これに伴い、第25期事業年度は平成18年4月1日から平成18年9月30日までの6ヵ月間となっております。

ホームページもご覧下さい。

<http://www.systemsoft.co.jp/>



事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 【郵便物送付先】 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 (住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417 (その他のご照会) 0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所（証券コード7527）
単元株式数	100株

第25期事業報告書

平成18年4月1日 ▶ 平成18年9月30日



代表取締役社長

吉尾 春樹

CONTENTS

株主の皆様へP1
 会社沿革P3
 事業部のご紹介P4
 新事業部のご紹介P5
 連結財務データP7
 単体財務データP9
 会社の概況P10
 株式情報P10
 株主メモ裏表紙

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第25期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）の決算をご報告させていただくにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

システムソフトは創業以来、「IT技術がお客様に何を生み出すのか」を提案し続け、時代に沿った技術を活かしたサービスの提供でお客様に奉仕してまいりました。

当社は早くからインターネット技術に取り組んでまいりましたが、単純な情報発信手段としてのインターネットだけではなく、業務システムとしてのWebシステム開発にも注力しており、これまでに多くの企業様にご支持いただいております。

そして、日本最大の賃貸不動産ネットワークを持つアパマンショップグループの一員として、本年8月より、不動産に関する多種多様な情報をお客様に自由に利用していただける不動産ポータルサイト「住む∞買う∞投資のナビゲーター CatchUp（キャッチアップ）」の提供を開始し、情報量の拡大や利便性の向上に取り組んでまいりました。

今後も引き続き、企業様へのIT技術提供をすすめながら、不動産という身近な市場でのサービス提供に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、こうした当社の姿勢を何卒ご理解いただき、一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■事業の概況

当期における当社グループの業績は、売上高818百万円（当初計画1,180百万円）、経常損失543百万円（当初計画は50百万円の経常利益）、当期純損失は508百万円（当初計画は48百万円の当期純利益）という結果となりました。

当期は、新規の開発作業を不動産ポータルサイトのシステム開発と主要コンテンツの強化に注力したことで、親会社株式会社アパマンショップホールディングスより受注し当期末までに納入を予定していた案件のうち約7割が、翌期にずれ込みました。また、子会社 株式会社リビングファーストにおいても、ポータルサイトの広告獲得のため、営業部門としての役割を強化したことにより、既存事業の売上高が計画を下回りました。これらの要因により、結果として売上高が当初計画を下回りました。

利益面につきましては、ポータルサイトの開発に伴いデータベースの構築を積極的にすすめたことによる研究開発費の計上に加え、ポータルサイトのオープンに向けたキャンペーンの展開、オープン後の認知度向上を図るための各種メディアへの広告掲載等、積極的に販売促進費・広告宣伝費を投入したことにより、当初計画を下回りました。

一方、従来のシステム開発事業につきましては、売上高546百万円、営業利益12百万円と、計画どおり順調に黒字で推移しております。

（注）当連結会計年度は決算期変更により6ヵ月決算となっております。

■次期の見通し

今後の見通しにつきましては、従来のシステム開発事業は安定して推移するものとして予想しております。ポータルサイト事業につきましては、上期においては引き続き先行投資的な費用の投入を計画しており、収益面は厳しいと予測しておりますが、下期においてはコンテンツ掲載の有料化により収益が改善するものと見込んでおり、通期での黒字化を目指してまいります。

1979年09月	コンピュータソフトウェア開発会社設立
1983年11月	ゲームソフト「ロードランナー」発売、以降「大戦略シリーズ」、「天下統一シリーズ」、「エアコンバットシリーズ」等順次発売
1983年12月	「PCテクノウ9800」発売、5万部以上の売上
1985年03月	資本金1,600万円に増資
1987年04月	アップルコンピュータ(株)と正規販売代理店契約を締結、PC販売開始
1987年09月	Quark,Inc. (オランダ)との仕入取引を開始、以降、海外ソフトメーカーとのローカライズ・国内独占販売契約を締結 <代表製品> 「QuarkXPress日本語版」(オランダ、Quark社) 「Adobe Photoshop日本語版」(AdobeSystems社) 「Macromedia Director日本語版」
1990年12月	WIDEプロジェクトに参加、これによりWIDE Internetが九州に延伸
1992年05月	カテナ(株)が当社の株式を取得し、資本参加
1992年07月	資本金1億28百万円に増資
1994年03月	自社開発第一弾の日本語文章作成ツール「システムソフトエディタ」発売
1996年02月	電子辞典「岩波国語辞典第五版」「研究社新英和・和英中辞典」発売、以降多くの電子辞書発売
1996年11月	日本証券業協会に株式を店頭公開(現在、(株)ジャスダック証券取引所に上場)、資本金5億65百万円に増資
1997年06月	文書管理システムの構築サービス事業を開始
1998年11月	100%子会社(株)システムソフト・プロダクション設立、ゲームソフト事業を移管
1998年11月	電通グループ推進の総合広告管理システム「AD Manager」の開発を担当
2000年03月	iモードプロ野球速報システム稼働
2000年10月	銀行向け顧客情報システム稼働
2001年03月	(株)システムソフト・プロダクションの営業権を譲渡
2001年12月	資本金13億38百万円に増資
2002年03月	教育機関向けASPシステム「学内情報配信システム」開発
2002年04月	国際交流学習ネットワークシステム稼働
2004年04月	iモードサイト「実況!!USA野球」を配信開始
2004年10月	ホームページ情報公開システムの開発を本格的にスタート
2005年08月	株式の1単元の株式数を1,000株から100株へ変更
2005年11月	(株)アパマンショップネットワーク(現(株)アパマンショップホールディングス)が当社の株式をカテナ(株)より取得し、親会社として資本参加
2006年02月	(株)リビングファーストの株式を取得し、子会社化
2006年03月	資本金21億46百万円に増資
2006年08月	不動産ポータルサイトCatchUpをオープン、ポータルサイト構築・運営事業に参入

システム事業部

■事業内容

当事業部の特長は、長年継続してシステムに携わらせていただいている企業様が多い、ということです。ご要望に応じて、要件定義などのいわゆる上流工程の業務から、保守・運用業務まで、システム開発の全工程を請け負っております。そのために、数名～数十名のプロジェクトチームごとにお客様先で開発をさせていただくこともあります。

お客様の求める要件によって、Web・オープン系、基幹系メインフレーム、VB/ACCESS等、用いる技術要素は様々です。また、システム面だけでなく、業務コンサルタント的に、業務面の改善提案でお役に立つことも多くあります。単に技術的興味を追求するのではなく、お客様が今必要とされていることに対して誠意を持って迅速に対応する、ということを大切にしております。

■当事業部の強み

ビジネスの強み・特色としては、まず、長年の経験により、お客様と同等の業務知識・システム知識を持っていることです。このことにより、お客様の必要としていること、実現したいことを正確に理解し、お客様の側に立つことの、本当の意味での、お役に立つ提案や効率の良い開発ができると考えております。

また、大手通信・放送企業研究所における音声・画像に関する研究・開発や、広告効果シミュレーションシステムなどの特殊な技術分野についても、多くのノウハウを持っていることも強みのひとつです。このような技術をもとに、Slerとしての事業も開始しております。

ITソリューション事業部

■事業内容

当事業部は、海外ソフトのローカライズ(日本語化)やオリジナルパッケージソフトウェア開発を手がけていた経験と、研究段階からインターネット技術に携わった経験から、利用者おひとりおひとりの高い利便性を意識したWebアプリケーション開発を得意としております。

また、地元福岡の企業様とのお付き合いが多いことも、当事業部の大きな特色のひとつです。かつてパッケージソフトウェアの開発・販売を主な事業としていた時代の当社のフィールドは、主に東京および海外でした。現在は、福岡に拠点を置く企業として、地元のお客様に根ざしたサービスのご提供を一番と考え、お客様のご要望に合わせた柔軟な対応や、お客様のこだわりに合わせてものづくりを、大切にしております。それにより、地元企業の競争力強化にぜひ貢献し続けたいと考えております。

■当事業部の強み

Webとデータベースを活用したシステムは、現在はごく当たり前の「しくみ」として利用されていますが、この、最も利便性の高い分野のシステム開発を、当事業部は得意分野としております。

また、これらWebのしくみと連携した携帯電話への情報配信システムについては、業界の中でも非常に早い段階から取り組んでおり、iモードサービスがスタートした頃のコンテンツ(情報)配信に、大いに貢献しております。その具体例が、プロ野球球団公式サイトが運営する試合速報配信システムです。

このように、ユーザ(利用者)を意識したものづくりをする上で、必要となる新しい技術や考え方については積極的に取り組み、お客様が求めるものに常にお応えしていけることが、当事業部の強みであると考えております。また、私たちが、そうしたものづくりに対するこだわりを持ち自己研鑽を続けることが重要と考えております。

CatchUp 不動産ポータルサイト「CatchUp」の運営






CatchUp事業部

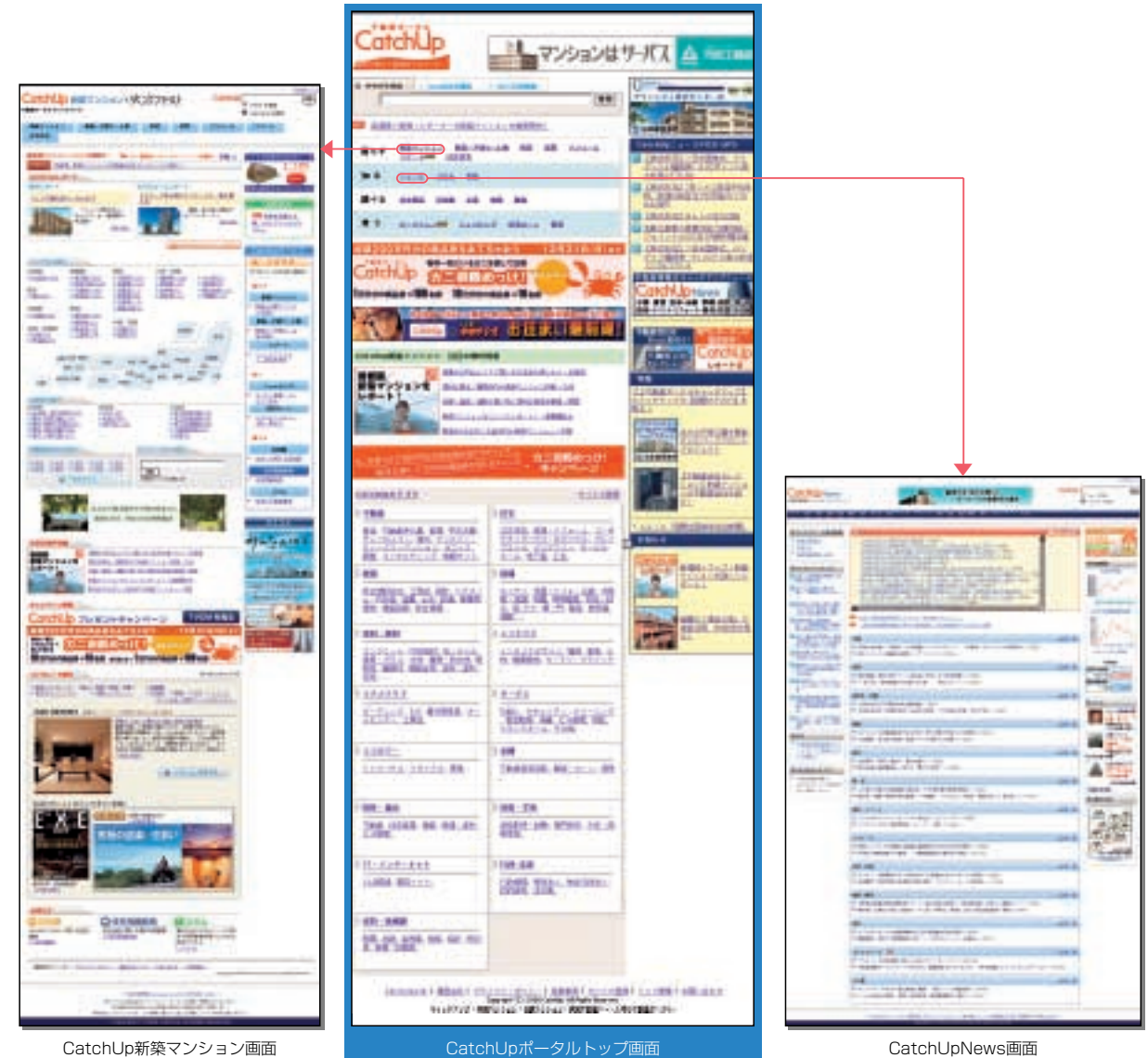
企業様をはじめとしたお客様のご要望に合わせたシステムづくり（開発）が、これまでの当社の事業分野でしたが、この度新しくスタートした不動産ポータルCatchUpの構築・運営事業を担うのが、当事業部です。ポータルサイトのシステム構築を担う開発部門と、企画・運営を担う企画部門により成り立っております。

不動産というきわめて大きな規模をもつ分野では、様々な情報が必要とされております。不動産ポータル

CatchUpは、新築（分譲マンション、一戸建て）、売買、賃貸などの不動産物件に関する情報はもちろん、関連する不動産業界ニュースや、マメ知識、ショッピング、オークションなどの様々な情報を提供する不動産の総合ポータルサイトを目指しております。不動産関連企業様から住宅をお探しの個人の方まで、お客様が必要とされる情報を、より使いやすく、わかりやすく提供できるようにサイトを構築してまいります。

不動産ポータルCatchUpの提供情報 <http://catchup-j.com/>

-  **物件情報**
 居住用物件（売買・賃貸）、投資用物件、リゾート物件、土地、オークション物件など
-  **ノウハウ集**
 住宅用語・住宅ローン・豆知識・コラム・施工事例など
-  **最新業界ニュース**
 13のカテゴリにわかれた不動産業界のデイリーニュース：
 分譲／賃貸／証券・金融／業績／統計／税・法／団体・イベント／リフォーム／資材・住設／施設・開発／海外／プレスリリース／その他
-  **業者情報**
 カテゴリ別に検索ができる10,000サイトを越える不動産関連企業リンク集（サイト上での新規登録が可能）
-  **暮らしの情報**
 生活関連商品情報・風水・地図検索・路線検索など



CatchUp新築マンション画面

CatchUpポータルトップ画面

CatchUpNews画面

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成18年9月30日現在	前連結会計年度 平成18年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	1,873,384	2,226,423
固定資産	2,811,620	2,773,381
資産合計	4,685,005	4,999,804
(負債の部)		
流動負債	615,461	375,176
固定負債	106,771	114,678
負債合計	722,233	489,855
(少数株主持分)		
少数株主持分	—	43,003
(資本の部)		
資本金	—	2,146,530
資本剰余金	—	1,791,944
利益剰余金	—	519,615
その他有価証券評価差額金	—	16,859
自己株式	—	△8,003
資本合計	—	4,466,946
負債、少数株主持分及び資本合計	—	4,999,804
(純資産の部)		
株主資本	3,943,512	—
資本金	2,147,442	—
資本剰余金	1,792,848	—
利益剰余金	11,225	—
自己株式	△8,003	—
評価・換算差額等	15,929	—
その他有価証券評価差額金	15,929	—
少数株主持分	3,329	—
純資産合計	3,962,771	—
負債及び純資産合計	4,685,005	—

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売上高	818,812
売上原価	655,409
売上総利益	163,403
販売費及び一般管理費	705,814
営業損失	542,410
営業外収益	23,492
営業外費用	24,462
経常損失	543,379
特別利益	490
特別損失	2,867
税金等調整前当期純損失	545,757
法人税、住民税及び事業税	2,055
少数株主損失	39,423
当期純損失	508,389

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
 2 平成18年3月期の期末日が連結子会社の支配獲得日となり、財務諸表のうち貸借対照表のみが連結対象であるため前連結会計年度は記載しておりません。
 3 当連結会計年度は決算期変更により6ヵ月決算となっております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△313,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,234
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の減少額	△405,526
現金及び現金同等物の期首残高	1,878,011
現金及び現金同等物の期末残高	1,472,484

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
 2 平成18年3月期の期末日が連結子会社の支配獲得日となり、財務諸表のうち貸借対照表のみが連結対象であるため前連結会計年度は記載しておりません。
 3 当連結会計年度は決算期変更により6ヵ月決算となっております。

連結株主資本等変動計算書

(当連結会計年度 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	2,146,530	1,791,944	519,615	△8,003	4,450,086	16,859	16,859	43,003	4,509,949
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	912	904			1,816				1,816
当期純損失			△508,389		△508,389				△508,389
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△929	△929	△39,674	△40,604
連結会計年度中の変動額合計	912	904	△508,389	—	△506,573	△929	△929	△39,674	△547,177
平成18年9月30日残高	2,147,442	1,792,848	11,225	△8,003	3,943,512	15,929	15,929	3,329	3,962,771

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
 2 当連結会計年度は決算期変更により6ヵ月決算となっております。

単体財務データ

Non-Consolidated Financial Statement

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当事業年度 平成18年9月30日現在	前事業年度 平成18年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	1,831,994	1,976,258
固定資産	2,931,309	2,832,551
資産合計	4,763,304	4,808,809
(負債の部)		
流動負債	580,680	228,585
固定負債	106,771	113,278
負債合計	687,452	341,863
(資本の部)		
資本金	—	2,146,530
資本剰余金	—	1,791,944
利益剰余金	—	519,615
その他有価証券評価差額金	—	16,859
自己株式	—	△8,003
資本合計	—	4,466,946
負債及び資本合計	—	4,808,809
(純資産の部)		
株主資本	4,059,922	—
資本金	2,147,442	—
資本剰余金	1,792,848	—
利益剰余金	127,635	—
自己株式	△8,003	—
評価・換算差額等	15,929	—
その他有価証券評価差額金	15,929	—
純資産合計	4,075,851	—
負債及び純資産合計	4,763,304	—

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

科目	当事業年度 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売上高	587,710
売上原価	536,965
売上総利益	50,745
販売費及び一般管理費	441,234
営業損失	390,489
営業外収益	23,220
営業外費用	23,392
経常損失	390,661
税引前当期純損失	390,661
法人税、住民税及び事業税	1,319
当期純損失	391,980

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
2 当事業年度は決算期変更により6ヵ月決算のため、前事業年度は記載していません。

株主資本等変動計算書

(当事業年度 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：千円)

科目	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	2,146,530	1,791,944	519,615	△8,003	4,450,086	16,859	16,859	4,466,946
事業年度中の変動額								
新株の発行	912	904			1,816			1,816
当期純損失			△391,980		△391,980			△391,980
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△929	△929	△929
事業年度中の変動額合計	912	904	△391,980	—	△390,164	△929	△929	△391,094
平成18年9月30日残高	2,147,442	1,792,848	127,635	△8,003	4,059,922	15,929	15,929	4,075,851

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
2 当事業年度は決算期変更により6ヵ月決算となっております。

会社の概況

Corporate Data

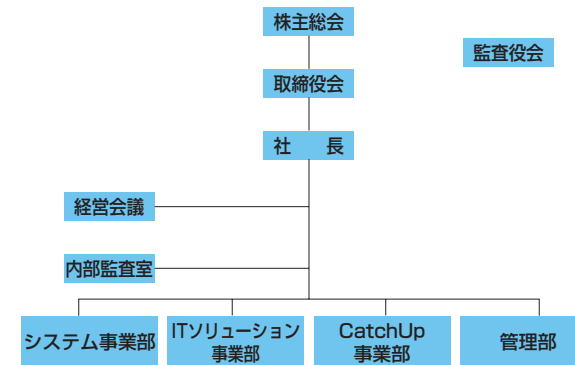
会社の概要

商号 株式会社システムソフト
設立 昭和54年9月
代表者の氏名 吉尾 春樹
決算期 9月30日
従業員数 102名(平成18年9月30日現在)
主要な事業所 本社(福岡市中央区)
八重洲オフィス(東京都中央区)
芝オフィス(東京都港区)

役員 (平成18年12月20日現在)

取締役会長 大村 浩次
代表取締役社長 吉尾 春樹
取締役 石川 雅浩
取締役 富島 隆
取締役 緒方 友一
常勤監査役 山川 利則
監査役 重留 恒昭
監査役 西島 修
監査役 川森 敬史

組織図 (平成18年12月20日現在)



株式情報

Stock Information

株式の状況 (平成18年9月30日現在)

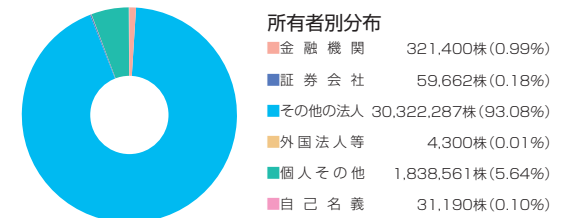
発行可能株式総数 33,000,000株
発行済株式総数 32,577,400株
株主数 1,362名

大株主の状況 (平成18年9月30日現在)

発行済株式の総数の10分の1以上の数の株式を保有する大株主

株主名	持株数	議決権比率
株式会社アパマンショップホールディングス	23,854,700 株	73.31 %
カテナ株式会社	6,322,700 株	19.43 %

株式分布状況 (平成18年9月30日現在)



株価の推移

